

【令和6年度 第1回中標津町自治推進会議報告】

日時: 令和6年5月29日(水) 19:00~21:00

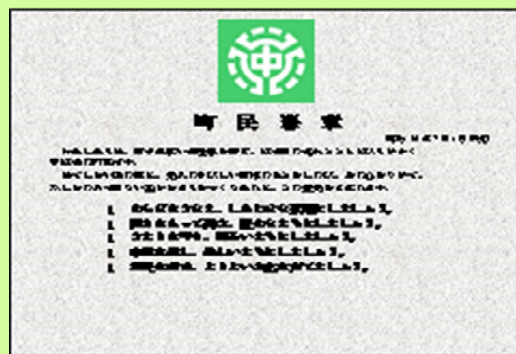
場所: 中標津町役場 3階 301会議室

出席者: 11名(中標津町自治推進会議委員5名、ファシリテーター1名、事務局5名)

傍聴者: なし

<会議次第>

1. 開会
2. 課長挨拶
3. 議題



- (1) 学生(高校生)の参加について
 - (2) 漫画制作について
 - (3) 町民ファシリテーター登録制度について
 - (4) 「中標津町の自治のあゆみ(仮)」について
 - (5) その他
4. 閉会

<配布資料>

会議資料 1: 「町民ファシリテーター」登録制度検討に際して

～派遣組織による町民ファシリテーターの位置付けの違い～

参考資料: コンサルタント、NPO、行政職員、市民のファシリテーター制度の比較

会議資料 2: 町のあゆみ・協働のあゆみ

事務局作成資料: 数字で見る中標津町自治基本条例の運用状況(令和5年度分)

<会議報告結果>

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議題

[進行: 東田ファシリテーター]



※事務局から連絡事項

本年3月に退任された中瀬委員の後任については、中標津町全町内会連合会及び計根別町内連合会より推薦いただく予定となっていたが、諸事情によりこの2つの団体からは今年度いっぱい後任の推薦はできない旨回答があったので報告する。

※議案に入る前に、前回の振り返りと本日の課題確認

(1) 学生（高校生）の参加について、(2) 漫画制作について

東田ファシリテーター

本日、自治推進会議の前に開催された中標津高校生徒会リーダー研修に参加した委員より感想を伺いたい。

研修会で委員から生徒会への質問

【質問1】初任給は、いくらだと良いと考えている？

【質問2】何があれば、中標津町へ帰ってきたいと思う？

【質問3-1】生徒会で取り組んでいる学校行事等について、生徒の関心は高いと感じる？
また、アピールなどで工夫していることはある？

【質問3-2】自治推では、自治そのものを広めたい、自治の考え方や条例を広めたいと思っているが、なかなか上手く行っていない。何かアイディアはあるだろうか？

委員

・【質問3-2】自治を伝えるための手段としてSNSのようなデジタルなものではなく、看板というアナログな手法が出てきたことに驚いた。白樺並木のところに「自治やってます」と生徒会と自治推進会議と一緒に看板を作ってもいいかも。【質問2】今回は男子からの意見しかなかったがどちらかといえば女子のほうが都会へ行きたい割合は多いかもしれない。

委員

・【質問2】若い人は遊ぶ場所(ラウンドワンなど)が必要なのかと思ったが、「福祉」や「インフラの整備」との回答が出たことがすごく印象的だった。

委員

・【質問2】新聞の記事「消滅自治体」の話をしたときに、ネガティブじゃなくてポジティブな書き方をしたほうがより町が発展するんじゃないかという視点になるほどと思った。
・【質問3-1】目安箱の話で、成果のアピールだけでなく、経過のアピールも大事。

- ・【質問3-2】自治推進会議として漫画という手法で推進しようと動いていたが、予算的にも能力的にも大変で悩んでいたところ、「看板」といわれてそんな単純なことでもいいんだと気づかされた。
- ・全体を通して、自治推進会議委員に2人くらい入ってほしいくらい、若い人目線の意見を聞きたいと思った。

委員

- ・【質問1】それぞれの意見で出た手取り15万、18万、23万30万の内訳を知りたい。どのような使い道なのか、例えば子どもがほしいのか、趣味にお金をかけたいのか、など。
- ・【質問3-1】大人も高校生も困ってることは変わらず苦労していろいろ考えているんだなと思った。(高校生:生徒会立候補者少ない 大人:町内会役員立候補が少ないなど)

東田ファシリテーター

- ・【質問3-2】自治の広め方について「高校生が高校生にアピール」として話していたが、次のステップにつながるといいね。高校生の動きに注目したい。

東田ファシリテーター

その他、高校生との意見交換以外の意見はあるだろうか。



委員

自治推進会議の新しいクールが始まる時に今回の出前講座のようなことを行い、委員の知識を深めるといいと思う。

委員

高校生に対して看板とすごろくと漫画どれが一番効果的なのか聞きたかった。

委員

それぞれの難易度についても合わせて伝えたほうがいい。

委員

看板を作成するとなれば高校生に興味もってもらいたいし、運転している人にも気づいてほしい。設置場所としては町有地になるのか。その場合どのような手続きがいるのか確認が必要だと思う。

東田ファシリテーター

シンプルで不思議な看板でみんながその看板を意識してる自治やってるんだとなるといい。

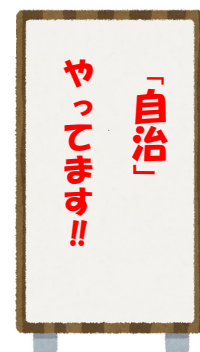
SNS で話題になったりすると効果的。選挙ポスターは名前と顔が目に入って記憶に残る。インパクトが必要なので例えば、生徒会から提案してもらい高校生にデザイン募集し投票してもらうとか。それ自体がアピールになる。シンプルなデザインで看板をつくるとして、どこに建てるかという問題がでてくる。

委員

それでは漫画はやめて、看板やすごろくなど別の形でアピールしていく方向で考えたい。

東田ファシリテーター

委員は町民にアピールするように、高校生も「講座や研修で学んだ自治や自治基本条例について、生徒会を通して他の生徒にアピールしていけるかもしれない」といわれたのは進展だった。研修で実施したアンケート結果も踏まえ、自治推進会議としてどう対応していくか考えたい。



事務局

研修の報告書、アンケート結果についても集計し、委員の皆さんに共有する。また、生徒会に先ほどの委員の感想について共有する。

（３）町民ファシリテーター登録関係…会議資料１、参考資料

東田ファシリテーター

次回以降、実際に町民ファシリテーターを呼んで意見を伺いながら重点的に話し合う時間を設けたい。資料を参考に、意見を出し論点整理をしていきたい。

また、今後のスケジュールについて考えていきたいと思う。

本間会長

町の登録にするにしても、任意団体の登録にするにしても、予算の問題や、安定した運営を続けていけるか、活動のしやすさなど、双方にメリットデメリットがある。現在の状況は、養成講座については補助金を活用して N-CAN でやっており、決して役場だけや民間だけと単独でやっているわけではない。もっと幅広い人たちに関わってもらえるようにするにはどうしたらいいだろうか。町の登録制度とするした場合どのようなことが想定されるだろうか？

事務局

ファシリテーターがいることで運営上スムーズになる。ただ特定の人に負担がかかっている現

状なので、たくさんの町民の方が役割を担っていただけるようになればと思う。

その上で町の登録制度とすると例えば、町の規則で位置付けると町の機関、町の内部の委員会や、町主催の集まりなどには派遣しやすいが、逆に自分たちで計画した民間のさまざまな活動に参加するとなると整合性はどうか。ファシリテーターが自分たちが自由に動けるとしたらむしろ役場は後ろ盾がいいかもしれない。しかし、安定的に動くために資金の確保が必要となり、一長一短に感じる。現在の登録の基準や登録方法についてはどのようなになっているのか？

本間会長

現在の登録については、まちづくりに興味がある人を増やすという意図がある。養成講座に申し込んだが全日程に参加できなかった人にも希望すれば登録証を渡している。ファシリテーターとなり、小さい現場でワークショップすることを通して学んでいく。その後、活動やまちづくりの担い手になってほしいという意図を含めての登録証である。

委員

どこが取りまとめてコーディネートしていくかが大事。中標津町で考えたら、じっくりくるのは財団への委託がいいのでは。財団には、すでに多くの町民活動団体が登録しており、いろいろな分野を網羅していると思う。または、N-CANを町民ファシリテーターに特化した形でのNPO法人化するという道はどうか。そうすれば団体が解散するリスクも減ると思う。社協のボランティアセンターとはちょっと毛色が違うと思う。ボランティアセンターの登録団体は、あくまで自分たち以外の誰かを支えるという目的で活動している。

事務局

町民ファシリテーターを公的に結び付けるとした場合、全国的に見てもきちんと整備されているところは少ないと思う。報酬関係についても民間、コンサルタント、市民団体で差がある。中標津町は、ほとんどN-CANへの委託の形になっている。民間などではなく公的な登録制度とするとボランティアや協働の要素が強くなり、安価になってしまい、受けてくれる方も限られるだろう。

委員

報酬については、町民ファシリテーターの位置づけはプロのように資格があるわけではなくボランティアの側面があるので。町のどこかが事務局的になって町民といろいろ話しながらお互いが協働みたいな感じはどうだろう。

東田ファシリテーター

町の登録になると報酬についてある程度上限があると思う。私の場合は1時間1万円。もっとすごく重たい案件で、例えば、駅前再開発に関する計画があり、何十億という事業について

話し合うのであれば、内容も重たいし予算の枠も広がるので報酬が多くなることはある。

町の登録制度にすることで、地位や名誉、ルールを確立することができるしファシリテーターは自治の担い手の一つとしては大事な役割。ファシリテーターになりたい人とファシリテーターの仕組みを作りたい人は別だと思う。どのようなゴールを目指していくか。

本間会長

スピード感で考えるとこの1、2年で結論が出ると次の答申の時に、条例改正に反映されるといいなと思う。

事務局

昨年はどのくらいファシリテーターと呼ばれ活動されたのか。

本間会長

開陽台活性化ワークショップ、まちづくり町民会議男女共同参画編、まちづくりを考える懇談会、町民ファシリテーター養成講座、話し合いの達人になろう！の5回だった。

今年度は、現在の予定としては若者ワークショップと福祉課の計画とまちづくり町民会議男女共同参画の3回である。

事務局

民間からの要請はあるのか？

本間会長

みんなの景観なかしべつプロジェクトの中で空き家セミナーを過去に2回ほどやったことがある。また、公式には集めないけれども、グループワークの際に、各グループに町民ファシリテーター養成講座を受けた人たちを配置して進行することもある。



東田ファシリテーター

今季冬にある文化財の計画のお披露目町民フォーラムを考えており、そこでファシリテーターを依頼すると思う。

本間会長

町民ファシリテーターが依頼を受けるジャンルやどういったテーマには対応できないなどそういったことは、まだ手探りな状況。町内会には呼ばれていない。
過去に、主催者が町民ファシリテーター登録していて、声がかかり募集をかけたという例はあった。町内会の話し合いなどにも町民ファシリテーターが入ったらいいなと思うが、もしこの町の人間関係を二分するような重要な話し合いがあったとしても、それを町民ファシリテーターが担うのは負

担が大きいと思う。

東田ファシリテーター

中標津町にある伝成館(旧北海道農事試験場根室支場庁舎)の存続について話す際に存続の希望する町民が多い中、存続は難しいと考える町民、解体を希望する町民もいた。札幌市ではそういったことは毎年のようにある。伝成館の場合は、町民有志の保存活動により存続となったが、札幌市のような話し合いが今後行われることもあるかもしれない。

事務局

町でやるとしたら、要綱を制定し登録制度が出来たとしてどのように進めていくか、どう町民に広げていくか、継続していくにはどうするかなど、それぞれのハードルを実際に仮定してクリアにしていく必要がある。補助金の活用もあるので講座をやるというのも可能(年に何度もとなると別)だと思うが、それを使ってどういう効果が期待出来るかということも説明しなければならないので整理させていただきたい。

本間会長

今回の会議以降、町民ファシリテーター登録制度について深い話し合いに進めていけると、登録メンバーに傍聴の声をかけやすい。

東田ファシリテーター

登録される側の人の話を聞く必要があると思う。今日は自治推進会議メンバーのみの話し合いになったが、次のステップとして傍聴に来たファシリテーターの方にも参加していただきもう少し深く話をしたい。

(4)「中標津町の自治のあゆみ(仮)」について… 会議資料2、事務局作成資料

東田ファシリテーター

会議資料2「協働のあゆみ」の欄について、載せる基準や作業のルールについて整理している。とりまとめについては、本間会長へおまかせしていいのか。

本間会長

私の中では行政と町民活動団体が一緒に、後援ではなく主催・共催の取り組みについて載せるという整理でいる。例えば、まちづくり町民会議や都市計画の策定会議など。

東田ファシリテーター

それでは、次回の7月の会議で、皆さんの4月から5月までの協働のあゆみや自治のあゆみだ

と思う経験、会議やイベントに出席したものについて、データでまとめて本間会長に渡すような流れでいいか。まとめるにあたってこういった基準を拾うか決める必要がある。

事務局

去年の会議では、自治の取り組みというものは、必ずしも行政に関わるものでなくてもということになったが、そうなるどこまで拾えばいいかが課題だった。見える化することが大事という話になった。

本間会長

自治組織や自治基本条例が出来たことは、協働が進んだ第1歩だったと思う。自治推進会議としても、今後の活動が目に見えるように量として表現していきたい。事務局作成資料も活用できそうだが、みなさん何かいいアイデアはあるだろうか。

東田ファシリテーター

事務局作成資料でいうと、行政側で町民参加、情報公開されているものについて集約されたもの。フロンティア補助金やまちづくり交付金については、補助金を受けた側が民間なので拾えるかもしれない。

本間会長

提案として次年度以降、事務局作成資料に、自治が進むことによって町民参加も増えてきたことがわかるような項目を追加するのはどうだろうか。

東田ファシリテーター

自治が進んでいるあゆみとして何が数値化されるとよいか。共催とすると範囲が広すぎてしまうので線引きが必要。

事務局

事務局作成資料については、補助金の出どころなどバラバラなので今後整理したほうがいいと思っている。意見があればお願いしたい。作成側としてももっと良いものを作ればと。

（５）その他

次回の第2回会議は7月26日金曜日

次々回の第3回は9月25日水曜日に開催予定。

(1) 学生(高校生)の参加について

- ・リーダー研修会での報告書、生徒たちのアンケートでの感想・意見をうけて今後の動きについて考える

(2) 漫画制作について

- ・生徒から提案してもらった「看板」や「すごろく」といった漫画以外の別の形で自治のアピールをしていく方向で再検討する

(3) 町民ファシリテーター登録制度について

- ・運用するためのシミュレーションを含めて行政としても検討していく
- ・スケジュールとしては、1～2年を目安に結論を出していきたい

(4) 「中標津町の自治のあゆみ(仮)」について

- ・自治のあゆみの進みを表すために、何をどう数値化するか検討する
- ・数字で見る中標津町自治基本条例の運用状況(事務局作成資料)の活用方法やバージョンアップについても検討する